

いまこそ、政治の中身を変えるとき

麻生首相は、10月30日、記者会見で「三年後に消費税の引き上げをお願いしたい」と明言しました。三年後といえば、次の総選挙で選ばれる衆議院議員の任期中です。富田なおきは、景気の悪化と福祉の破壊をもたらす消費税増税を許さないため、みなさんと力をあわせがんばります。



雨宮たけひこ新宿区議とともに、消費税の増税反対を訴える



「消費税増税反対署名にご協力を
お願いします」
(11月16日 新宿区四谷三丁目)

消費税増税ストップ！ 暮らしと営業を重視の政治へ転換を

社会保障を口実に消費税増税!? じつでもあつぱかん!

麻生首相の増税発言に続き、政府の社会保障国民会議は、社会保障の財源確保を口実に、二〇一五年の消費税率を現在より、3.3%~11%上げるという最終報告を出しました。仮に、消費税率10%になったら、単純計算で一人あたり約十兆円の増税です。

税金の無駄遣いをやめ、大企業には充分の税負担を

この間、富田なおき事務所には、「消費税の値上げなんてどうでもよい」「景気対策で二兆円配って、そのあと、消費税でしぼり取られるアメリカの金融危機が、日本経済に深刻な影響を及ぼし始めました。いま、日本は、この危機を克服するため、極端な輸出だのみの経済から、暮らし・家計重視の経済へ、体質改善が求められています。

社会保障の拡充、中小企業・農業支援の充実、若者の雇用保障など、国民の暮らし第一の政治への転換こそ、日本経済を元気にする最大・最良の景気対策です。

二つの聖域に改革のメスを!

消費税増税は必要ありません

①あらゆる無駄遣いをやめることです。不要・不急な大型開発はもうやめ、年約五兆円の軍事費に抜本的なメスを入れます。米軍への「思いやり予算」(約二千五百億円)は中止すべきです。「政党助成金」(約三二〇億円)を廃止し、その分の財源を障害者福祉に使うことを提案します。

②大企業・大銀行には儲け相応の負担を

この間、過去最高水準の利益をあげる大企業・大銀行には、次々と減税が実施されました。儲けに応じて税を負担するのは、社会の

ではかなわない」となどの声が寄せられています。消費税は、所得の低い人ほど重く負担がかかる制度です。消費税増税は、「福祉破壊」であり、個人消費を冷え込ませ、景気悪化も引き起こします。

当然のルールです。大企業への税率を十年前の水準に戻すだけで、年約七兆円の財源が生まれます。

食料品の消費税は、直ちに非課税に

「5%の消費税率は諸外国に比べて低いといわれることもありますが、まったくの誤解です。多くの国では生活必需品を非課税にするなどの緩和措置があるため、国民の負担は実際の数字ほど高くありません。逆に、すべての消費に課税する

日本の税負担は世界でも最高水準になっています。食料品については、直ちに消費税非課税を実施すべきです。

家計を応援することこそ、日本経済を活性化し、景気を良くする道です。消費税の増税は必要ありません。日本共産党は、そのために全力をつくします。

民主党——消費税増税は「いずれ必要」!

民主党は今年6月4日、日本経団連と「政策を語る会」を行い、民主党の政策として、「(消費税の)引き上げはいずれ必要だ」(藤井裕久民主党税調会長)と説明しています。

えっ! 大銀行が国への法人税を納めていない?

大銀行による貸し渋り・貸しはがしが、中小企業を深刻な事態に追い込んでいます。

一方、みずほ、みずほコーポレート、みずほ信託、三菱東京UFJ、三菱UFJ信託、三井住友の各銀行が、国に納めた法人税は過去十年間、なんと、ゼロ円。法律改正などによる優遇措置のためです。

貸し渋り・貸しはがしをやめさせる実効ある措置とともに、大銀行に、儲け相応の税金を納めてもらうことは、企業の社会的責任ではないでしょうか。



日本共産党衆議院東京1区
国政対策委員長・若者相談室長

富田なおき

事務所ニュース

No.12 2008.11.23

発行：富田なおき事務所

〒162-0065 新宿区住吉町11-25
TEL 03-3357-3392 FAX 03-3353-4912
E-mail:tomita-naoki@nifmail.jp

新宿

「共産党が注目されているいま、選挙で変化を 感じたい」と思う」

「かえるネット新宿」は、毎週、新宿駅東口でアピールを続けています。富田なおきは、十一月八日、「かえるネット」のメンバーとともにマイクを握り、行き交う若者たちに訴えるとともに、待ち合わせをしている青年に語りかけ、生の声を聴きました。

アニメのシナリオライターの男性は、チラシを受け取ると、「最近、共産党ががんばっていますね。インターネット



「人間らしく働けるルールづくり」と訴える富田なおき(新宿駅東口)

巻

「政治の中身」を変えれば職場が変わります

トで(志位さんが)トヨタを迫及する国会質問をみましたよ。労働条件を変えるためにがんばってほしい」と期待を表明。販売業の二八才の青年は、「残業代は一部しか出ないし、有給もとれない。『かえるネット』って、共産党と協力してがんばっているんですか。興味あります」と語り、連絡先も教えてくれました。

「かえるネット」のAさんは、「かなりの青年が、志位さんのことを国会で派遣問題を迫及してくれている人だと知っています。対話のときに共産党の名前をだすと信頼してくれ、いろんな話をしてくれますね。『蟹工船』がベストセラーになり、共産党がこれだけ注目されているときだけに、総選挙で変化を起こせるという手ごたえがあります」と語り、とりくみを強めています。



谷川智行さん(衆院比例東京ブロック)、いのくま正一(港区議)とともに訴えました(港区大門交差点)

十一月十二日、小雨のなか、港区内で終日宣伝にとりくみました。

大門交差点で、谷川智行さん(衆院比例東京ブロック)、いのくま正一(港区議)とともに、「働くルールの確立を」と訴えると、手を振っての熱い声援がかりました。赤坂サカス前では、「いまの政治、何とかして欲しい」と話しかけてきた五十代のサラリーマンとその場で熱い対話になりました。

JR田町駅芝浦口では、「赤旗」号外(「人間らしく働けるルールを」)を労働者後援会とともに配布すると、受け取りがよいことにビックリ。参加した後援会員の方は、「政治を何とかして欲しいという気持ちの表れでは」と語りました。

富田なおきの生いたち ⑪

一九九五年一月十七日、阪神大震災が発生し、戦後最悪の被害をもたらしました。

とても人ごとだとは思えず、国際交流サークルの先輩が被災地にボランティアに行ったり学内でカンパ活動をしたりする姿を見るにつけ、「自分も何かしなくては」という思いを募らせ

阪神大震災の救援活動にとりくむ姿にふれ、民青同盟に加盟



民青同盟の合宿で仲間たちと写真撮影
左から3人目が富田なおき

ていました。

大学三年の時、民青同盟に誘われました。両親から「学生運動だけにはかわるな」と言われたことや、組織に入ることへのためらいから、いろいろな理由をつけて渋っていました。

その年の夏、地震の被災者の救援活動にとりくんでいた民青同盟の学習会に初

めて参加。薬害エイズ問題

などにも取り組む真面目な学生が大勢いることに勇気づけられ加盟しました。

民青同盟に入ってみると学ぶことすべて面白く、不破さんの著書『綱領路線の今日的発展』には、一つひとつ自分の疑問が解明されており、驚きと感動をもった読みました。

千代田 日本をび金の

心配なく学べる国にしよう

